

1月から

終末期を自宅で迎えることができるように相談・登録ができます

～看取りのしくみ～

大山町では、平成19年度から医療や介護に関わる関係者による協議会を設立し、検討を重ねてきました。平成20年1月には、4,000人の方にアンケート調査を行い、その結果、自宅での介護を希望する方が約38%おられました。今回、協議会で検討した結果、大山町にお住まいの方で「自宅で終末期を迎えたい」という意思があるとき、そのお手伝いをする体制を作ることになりました。

病院では
医師、看護師と家
族が看取りますが、
自宅では家族が看
取ります。



大山町の場合、かかりつけ医（主治医）が融通を利かせながら看取りを行っていますが、どうしても都合がつかない場合など、登録していると、セカンド医（看取り協力医）が最期の看取りを行います。

ただし、連絡がつかない時は、対応出来ないことがあります。

終末期を自宅で迎えたいというご本人や家族の意思があれば、事前に「はるかの窓口」に相談をしてください。本人の意思を十分確認したうえで登録していただきます。

この仕組みによって、自宅での看取りを支援します。

ご相談は

大山町地域包括支援センター 「はるかの窓口」

電話 0859-54-2226

